

「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」 作文練習 14

木下大輔

2022年05月25日

1 第一問

「ただし仮にそれがほんとうで、人工的にミニブラックホールをつくれたとしても、それは原子よりもはるかに小さなものになる。」という文がありました。「…仮に…としても…」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「『バック・トゥ・ザ・フューチャー』では、マーティが生まれのないような歴史の改変が行われそうになると、マーティの体が消えかかるのだが、仮にマーティが消えたところで矛盾は解消されない。」という文がありました。「…動詞 + そうになる」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「滅亡の危機にさらされた人類を救うため、元宇宙飛行士のクーパーが人類が住める惑星を探しに行く物語だ。」という文がありました。「…動詞 + ため…」を含む文を作りなさい。

4 第四問

「映画のストーリーのネタバレは極力さけるようにしてある。」という文がありました。「…動詞 + ようにする」を含む文を作りなさい。

5 第五問

「SF映画は科学の入り口として格好の存在だといえるだろう。」という文がありました。「…動詞 + だろう」を含む文を作りなさい。

6 第六問

「こんなとんでもない天体でさえ、ウェルズのタイムマシンほどの時間の流れは生みだせないのである。」という文がありました。「…でさえ…」を含む文を作りなさい。

7 第七問

「しかし一般相対性理論にもとづいて、過去へのタイムトラベルを可能にするかもしれない方法は実際に考案されている。」という文がありました。「…かもしれない…」を含む文を作りなさい。

8 第八問

「このようにタイムトラベルをあつかった作品では、人類すら存在しない、はるか過去へと旅する設定もよく登場する。」という文がありました。「…すら…ない」を含む文を作りなさい。